

2009年度日本木材学会中部支部大会実施概要

2009年度の木材学会中部支部大会は、2009年10月29～30日の日程で、名古屋市のポートメッセなごや交流センターにて開催されました。この度の大会は中部木工機械工業会様にご後援いただき、会場設営等に際しまして関係者の皆様には大変お世話になりましたこと、先ずは心よりお礼を申し上げます。

初日には、先ず昼時に評議員会が行われました。支部活動や支部会計、次期開催地(石川)が報告・承認されたのち、本部からご出席いただきました日本木材学会副会長奥村正悟京都大学教授より、(1)木材学会の法人化に向けての準備とりわけ次回宮崎大会での臨時総会への出席依頼、(2)学会誌の電子投稿受付開始、など非常に重要な事項が説明されました。

評議員会に引き続いて同日、口頭発表と展示発表が行われました。当初、参加・発表申込が少なく心配しましたが、締め切り後も個別に申込をお願いするなどして、最終的には参加者81名(55名(一般)、26名(学生))、口頭発表19件、展示発表16件となり、いずれも例年並みとすることができました。ご協力いただきました皆様には、心よりお礼申し上げます。

展示発表終了後には懇親会が約35名の出席をいただき、名古屋マリオットアソシアホテルにて行われました。特別な余興を企画したわけではありませんが、超高層階(地上51階)からの素晴らしい夜景が、良いアトラクションになったのではないのでしょうか。

2日目には総会とそれに引き続き、中部木工機械工業会副理事長、全国木工機械工業会理事、飯田工業株式会社社長の井本希孝様に、「木工機械工業の現状と将来」と題してご講演いただきました。本講演では、木材加工機械販売金額の推移、合板の国内生産量と輸入量の推移、集成材の国内生産量の推移、木質ボード国内生産量の推移等についてお話しいただき、隣会場にて開催されていた第39回名古屋国際木工機械展関係からも多くの方が聴講・参加され、大変活発な講演会となりました。

本大会最後のイベントとしまして、上にも話題にしております、第39回名古屋国際木工機械展の見学を企画しました。これにおきましても、本展覧会のパンフレット・参加券を事前に譲渡していただき、中部木工機械工業会関係者の皆様には、大変お世話になりました。

以上のように、2009年度日本木材学会中部支部大会も、参加者数や内容など、これまでの中部支部大会と同様に、充実した大会とすることができたと考えています。